◇◆◇◆◇◆

充実するなど、社会教育における学習機会の拡充が重要。

（人生100年時代と生涯学習・社会教育）
・マルチステージ（複数のキャリアを持ち、多様な人生を歩むこと）の人生においては、必要な時に必要な学びを通じ成長し、心身の健康を保持しながら活動できることが求められる。また、職場や職種の転換を経験する機会も増える可能性が高まるため、必要な資質・能力等を更新できる学びの場が重要。

（Society 5.0［※注］に向けたこれからの生涯学習・社会教育）
・時間的・空間的な制約を超えた学びなど、新しい技術を活用した様々な学びの在り方が可能になる。
⇒新しい技術を活用した学びの利点を最大限生かし、取組を更に充実・発展していくことが求められる。
・ICT機器を利用できる者とできない者の格差（デジタル・ディバイド）の解消は、住民の安全や命を守ることにもつながる。

（地域活性化の推進）
・地域における豊かな学びを推進するためには、多様な主体が連携・協働し共に学び合うことが求められる。

（子供・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進）
・子供・若者が地域の課題解決に主体的に関わることは、主権者意識の涵養にも資するものであり、よりよい社会を創っていく資質・能力を育む上で重要。社会教育・学校教育という区分を超えて充実を図るべき。

２．新しい時代の生涯学習・社会教育の広がりと充実に向けて

（新しい時代の学びの在り方）
・いわゆる講義形式で知識をインプットする「学び」だけでなく、疑問を持ち、課題を見つけ、考えを発信し、他者と共に考え、新たな考えを創造するといったことも「学び」の重要な要素となる。
・様々な背景を有する多様な世代の人たちがつながり、共に学び合うことにより、新たなアイデアが生まれ課題解決につながることや、他者を理解し、受け入れ、共生する社会の実現につながることが期待される。
・新しい技術を活用した「オンラインによる学び」と「対面による学び」の組合せで学びが更に豊かなものになる。

（「命を守る」生涯学習・社会教育）
・新型コロナウイルス感染症や自然災害などの課題に対し、必要な知識を得たり課題解決に向けて共に学び合ったりする機会の充実は、あらゆる人々の「命を守る」ことに直結する。
・「誰一人として取り残さない」包摂的な社会の実現のため、様々な人たちに必要な学びの機会を設けることが重要。
⇒学びを通じて人々の生命や生活を守る「命を守る」生涯学習・社会

教育という視点が今後ますます重要。

（推進のための方策）

①学びの活動をコーディネートする人材の育成・活用

・社会教育士の取組事例や成果を具体的に紹介し、多様な場での活躍を促進していくこと。

・多様な人材が社会教育主事講習を受講できるよう、オンライン等による受講機会の確保などの条件整備が求められる。

②新しい技術を活用した「つながり」の拡大

・MOOC（大規模公開オンライン講座）や放送大学などの積極的な活用をこれまで以上に推進していくこと。

・社会教育施設における ICT 環境の整備推進のため、既存財源の活用や企業との協同等の創意工夫を凝らした取組を促進すること。

・デジタル・ディバイド解消のため、社会教育施設等での ICT リテラシー（情報化社会に対応する能力）を身に付ける学習機会を充実すること。

③学びと活動の循環・拡大

・生涯学習の分野における ICT 等を活用した学習履歴の可視化について推進方策を検討すること。

・より多くの人たちが自主的に学びの活動に参画するような工夫として、ボランティア活動をポイント化し、それを地域での購買や学校等への寄附に利用できるようにするといった特色のある取組を推進していくこと。

④個人の成長と社会の発展につながるリカレント教育の推進

・大学や専門学校等と産業界が連携した実践的な教育プログラムを開発・拡充すること。

・大学や専門学校等における遠隔授業のリカレント教育（生涯にわたって教育と就労のサイクルを繰り返す教育制度）への活用を積極的に推進すること。

⑤各地の優れた取組の支援と全国展開

・先進的な事例等のわかりやすい形での情報提供や、関係者がノウハウ（方法や手順）等を共有する機会を充実すること。

［※注］Society 5.0 とは？（内閣府ホームページの記載を参考）

サイバー（インターネットなど）空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会新たな社会のことで、次のようなイメージの社会です。

・インターネットで全ての「人」と「モノ」がつながり、様々な知識や情報が共有され、新たな価値がうまれる社会

・AI（人工知能）により、多くの情報を分析するなどの面倒な作業から解放される社会少子高齢化、地方の過疎化などの課題をイノベーション

（技術革新）により克服する社会
・ロボットや自動運転車などの支援により、人の可能性がひろがる社会

［参考］
Society 1.0 狩猟社会、2.0 農耕社会、3.0 工業社会、4.0 情報社会

この「議論の整理」のキーワードは、次の３点となっており、文部科学省のホームページにはそれぞれの事例集・施策集も掲載されていますので、ぜひご活用ください！

①「命を守る」生涯学習・社会教育
事例「県立学校における防災型コミュニティ・スクールの推進」
事例「障害の有無を問わず市民が共に学び会う場」
事例「社会的困難を抱える若者の自立に向けた学びの場」

②ＩＣＴ活用、デジタル・ディバイド解消
事例「公民館職員手作りによるオンライン講座の開催」
事例「企業との連携によるシニア向けスマートフォン講座の開催」

③子供・若者の地域・社会への主体的な参画
事例「ひとが育つまち益田」の実現を目指したライフキャリア教育」

文部科学省ホームページはこちら（今回の出展）
↓↓↓↓↓
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo2/toushin/1330378_00001.htm

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――――★
各種研修会の開催要項を掲載中です！
★――――――――――――――――――――――――――――――――――――――★
【当面の研修会等実施予定】
９月２８日（火）～２９日（水）
放課後児童支援員研修（県北後期）
【オンライン形式（参集せずに開催）】
１０月　５日（火）～　６日（水）
放課後児童支援員研修（センター１班後期）
【オンライン形式（参集せずに開催）】
７日（木）～　８日（金）
放課後児童支援員研修（センター２班前期）
【オンライン形式（参集せずに開催）】
８日（金）　人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（県南）
１２日（火）～１３日（水）
放課後児童支援員研修（盛岡前期）
【オンライン形式（参集せずに開催）】

１３日（水）　広報スキルアップ研修講座②
２０日（水）　事業プログラム企画運営研修講座
【オンライン形式（参集せずに開催）】
２６日（火）～２７日（水）
放課後児童支援員研修（センター２班後期）
【オンライン形式（参集せずに開催）】
１１月　６日（土）～　７日（日）
高校卒業程度認定試験
９日（火）～１０日（水）
放課後児童支援員研修（盛岡後期）
【オンライン形式（参集せずに開催）】

※申し訳ありませんが、既に申し込みを締め切っているものもあります。
※開催要項・実施報告書は、当センターのＨＰ「まなびネットいわて」でご覧ください。（中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中）
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

※開催の有無、実施方法・内容の変更等があれば関係各所に通知します。
（ＨＰでもお知らせします。）

【生涯学習電話相談「マナビィコール」】
研修会・講師情報等のお問い合わせ等は下記までお気軽にどうぞ！
当所で行っている「学び」全般の相談ダイヤルです。
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/soudanshien/manabiikoru.html

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||
▸ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで
⇒　E-mail；mag-manabee@pref.iwate.jp

▸生涯学習・社会教育関連情報は当センターＨＰから
⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

▸ 当センターの情報を SNS にて配信中
【Facebook】https://www.facebook.com/manabinetiwate/
【 Twitter 】https://twitter.com/manabinetiwate Facebook・Twitter

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||iwatemanabeemagazine||||||
発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：菊池　一洋